



サーバ OS のインストール

この章の内容は、次のとおりです。

- [OS のインストール方法, 1 ページ](#)
- [KVM コンソール, 1 ページ](#)
- [PXE インストールサーバ, 2 ページ](#)
- [USB ポートからのオペレーティングシステムの起動, 3 ページ](#)

OS のインストール方法

C シリーズサーバは、複数のオペレーティングシステムをサポートしています。インストールされている OS に関係なく、次のいずれかのツールを使用してサーバにインストールできます。

- KVM コンソール
- PXE インストールサーバ

KVM コンソール

KVM コンソールは Cisco IMC からアクセス可能なインターフェイスであり、サーバへのキーボード、ビデオ、マウス (KVM) の直接接続をエミュレートします。KVM コンソールを使用すると、リモートの場所からサーバに接続できます。

サーバに物理的に接続された CD/DVD ドライブまたはフロッピードライブを使用する代わりに、KVM コンソールは仮想メディアを使用します。これは、仮想 CD/DVD ドライブまたはフロッピードライブにマップされる実際のディスク ドライブまたはディスク イメージファイルです。次のいずれでも仮想ドライブにマップできます。

- コンピュータ上の CD/DVD またはフロッピー ドライブ
- コンピュータ上のディスク イメージファイル (ISO または IMG ファイル)

- コンピュータ上の USB フラッシュ ドライブ
- ネットワーク上の CD/DVD またはフロッピー ドライブ
- ネットワーク上のディスク イメージ ファイル (ISO または IMG ファイル)
- ネットワーク上の USB フラッシュ ドライブ

KVM コンソールを使用してサーバに OS をインストールできます。



- (注) KVM コンソールの操作には、GUI 以外は使用できません。KVM コンソールの起動手順については、『*Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller GUI Configuration Guide*』を参照してください。

KVM コンソールを使用した OS のインストール

KVM コンソールは GUI によってのみ操作されるため、CLI を使用してサーバ OS をインストールすることはできません。KVM コンソールを使用して OS をインストールするには、『*Cisco UCS C-Series Servers Integrated Management Controller GUI Configuration Guide*』の「Installing an OS Using the KVM Console」の項の手順に従います。



- (注) Linux、VMware、および Windows のインストールの詳細なガイドについては、次の URL を参照してください。http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/products_installation_and_configuration_guides_list.html

PXE インストール サーバ

Preboot Execution Environment (PXE) インストール サーバを使用すると、クライアントはリモートの場所から OS をブートおよびインストールできます。この方法を使用するには、PXE 環境が設定されていて、VLAN (通常は専用のプロビジョニング VLAN) で使用できるようになっている必要があります。さらに、サーバがネットワークからブートするように設定されている必要があります。サーバは、ブートすると、PXE 要求をネットワーク経由で送信します。PXE インストール サーバは、この要求に応答確認し、サーバに OS をインストールするイベントのシーケンスを開始します。

PXE サーバは、インストール ディスク、ディスク イメージ、またはスクリプトを使用して、OS をインストールできます。また、独自のディスク イメージを使用して、OS、追加コンポーネント、またはアプリケーションをインストールすることもできます。



- (注) PXE インストールは、多数のサーバに OS をインストールする場合に効率のよい方法です。ただし、この方法を使用するには PXE 環境をセットアップする必要があることを考えると、他のインストール方法を使用する方が簡単な場合があります。

PXE インストール サーバを使用した OS のインストール

はじめる前に

- VLAN 経由でサーバに到達できることを確認します。
- OS をインストールするには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

手順

ステップ 1 PXE のブート順を最初に設定します。

ステップ 2 サーバをリブートします。

VLAN で PXE インストール サーバを使用できる場合は、サーバが再起動するとインストールプロセスが開始します。通常、PXE インストールは自動化されており、追加のユーザ入力が必要としません。残りのインストールプロセスについては、インストールしている OS のインストールガイドを参照してください。

次の作業

OS のインストールが完了したら、LAN のブート順を元の設定にリセットします。

USB ポートからのオペレーティング システムの起動

すべての Cisco UCS C シリーズ サーバでは、サーバ上の任意の USB ポートからオペレーティング システムを起動できます。ただし、USB ポートから OS を起動する前に、いくつかのガイドラインを考慮する必要があります。

- ブート順序の設定を保持するために、内部 USB ポートを使って OS を起動することをお勧めします。
- USB ポートから OS を起動する前に、そのポートを有効にしておく必要があります。

デフォルトでは、USB ポートは有効になっています。USB ポートを無効化している場合、そこから OS を起動する前に有効にする必要があります。無効化された USB ポートを有効にする方法については、サーバ固有のインストールおよびサービス ガイドにある『*Enabling or Disabling the Internal USB Port*』のトピックを参照してください。次のリンクを利用できません。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10493/prod_installation_guides_list.html.

- USB ポートから OS を起動した後、その USB ソースからサーバが毎回ブートするよう、下位レベルのブート順序を設定する必要があります。